

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,455	t-CO <sub>2</sub>
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,455

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス総排出量	1,456	t-CO <sub>2</sub>	1,412	t-CO <sub>2</sub>	1,458	t-CO <sub>2</sub>	1,410	t-CO <sub>2</sub>	1,455	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 0.1	%	3.2	%	0.1	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

・令和6年の目標値を下回る事は出来なかったが、電気使用量はコロナの影響および15階事務所化工事（2021年2月～2021年8月）により使用量が少なくなった基準年度の令和3年度（令和2年度より48.2kWh減）より電気使用量が49.7kWh減少した事は評価できる。

・ガス使用量は基準年度より7.6千Nm増加しているが、基準年度時に使用していない15階の個別空調（GHP）が稼働しているため（2021年度の15階事務所化工事から2022年6月のテナント入居まで個別空調（GHP）を使用していない）

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
	非常階段の照明を蛍光灯からLEDに変更し、人感センサーによる点灯で、電力使用量の削減。		非常階段は全てLED化および人感センサー設置済。非常階段以外で下記の照明のLED化を実施。 ・B1F駐車場管理室, 駐車場および警備仮眠室 : 2024年6月 ・3F~B1F照明(共用部および一部専用部) : 2024年10月 今後も順次計画中
	各居室、トイレの給排気ファン整備や更新		RFハロンボンベ庫排気ファン更新: 2024年5月
	各居室のエアコンを高効率の機器へ更新		ダイキン業務用エアコンは2015年以降トップランナー基準を適用。 5F室内機6台増設: 2024年9月 13F室内機1台増設: 2024年9月 12F室内機1台増設: 2024年9月 12F室内機1台増設: 2025年2月
	窓ガラスの日射フィルムを交換		北面(14F~3F)更新: 2024年11月

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO<sub>2</sub>

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・設置から20年経過し、劣化が見受けられる窓ガラスの日射フィルムの貼替え(2024年度北面)を行い、外気熱負荷の軽減を図る。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況